

## 授業科目

## 小児看護学概論

担当教員名 松井 由美子	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

## 授業の概要

小児看護の歴史を学び小児看護の役割について理解を深める。小児看護における主な理論を知り子どもの権利や権利擁護の意義についても学習する。

また、健康問題を持つ子どもとその家族の特徴や看護について学び、子どもの QOL サポーターとしての援助者の役割について考察する。事例学習を通して看護診断プロセスを学習し、健康問題を持つ子どもとその家族の権利を擁護した QOL サポートのあり方を PBL 学習を用いたグループワークを通して深めていく。

## 授業の目的

小児看護の特徴や理論を踏まえ健康問題を持つ子どもとその家族の QOL について PBL による事例学習を通して話し合い、QOL サポーターとしての役割について考察する。また、小児看護における看護診断について学習し、子どもとその家族の権利や QOL を重視した看護プロセスについて学習する。

## 学習目標

1. 小児看護の歴史と意義について説明できる。
2. 子どもの権利と権利擁護に対する看護師の役割を述べられる。
3. 子どもに関わる理論について説明できる。
4. 健康障害や入院が子どもとその家族に与える影響について述べられる。
5. 子どもに見られるおもな症状の特徴について述べられる。
6. 健康問題を持つ子どもとその家族のアセスメントを行い、看護診断プロセスを体験できる。
7. 特徴的な子どもの疾患の病態生理・診断・治療について説明できる。
8. 健康障害を持つ子どもの看護と QOL について話し合い発表できる。
9. 自主的に PBL 学習に参加し、問題解決のためにグループの中で貢献できる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	小児看護の歴史とその意義	講義	松井 由美子
2	子どもの権利とその擁護	講義・グループワーク	松井 由美子
3	小児看護に関する主要理論	講義	松井 由美子
4	健康障害や入院が子どもとその家族に与える影響	講義・演習	松井 由美子
5	子どもに見られる主な症状	講義	松井 由美子
6	さまざまな検査や処置、治療を受ける子どもとその家族の看護	講義	松井 由美子
7	小児看護における看護診断プロセス	講義・演習	松井 由美子
8	PBL グループワーク (発表資料作成)	PBL 演習	松井 由美子 他
9	先天異常、新生児疾患を持つ子どもとその家族の QOL と看護	PBL 発表	松井 由美子
10	呼吸器疾患、循環器疾患を持つ子どもとその家族の QOL と看護	PBL 発表	松井 由美子
11	消化器疾患、血液疾患、悪性腫瘍を持つ子どもとその家族の QOL と看護	PBL 発表	松井 由美子
12	代謝性・内分泌疾患、アレルギー疾患、腎・泌尿器疾患を持つ子どもとその家族の QOL と看護	PBL 発表	松井 由美子
13	神経疾患、運動器疾患、精神疾患を持つ子どもとその家族の QOL と看護	PBL 発表	松井 由美子
14	事故、外傷、虐待を受けた子どもとその家族の QOL と看護	PBL 発表	松井 由美子
15	まとめ	講義	松井 由美子

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他

<b>教科書</b>	小児臨床看護各論	奈良間 美保、丸 光恵、西野 郁子 他	医学書院	2015年	3,300円+税	
<b>参考書</b>	こどもの病気の地図帳	鴨下重彦、柳澤正義監修	講談社	2015年	3,000円+税	
	NANDA 看護診断 定義と分類 最新版			2016年		
	医学書院					
<b>その他の資料</b>						

#### 評価方法

定期試験(50%程度)、PBLプレゼンテーション(50%程度のルーブリック評価)

#### 履修上の留意点

PBL学習に積極的に参加し発表に貢献すること。

PBLではルーブリック評価に示された評価基準をもとにグループワークやプレゼンテーションに積極的に参加しましょう。

#### オフィスアワー・連絡先

matsui@nuhw.ac.jp

研究室：K棟403号室

オフィスアワー：木曜午前中

授業に関する質問などは、メールにてご連絡ください。